

◆セミナー全体に対する感想・要望の1例として、「技術系の講師とマーケット系の講師が両極端すぎる気がした」、「時間内に効果的なセミナーを行うように心掛けて頂きたい」、「2～3年後の業界動向について講義があるとありがたい」、「マイクの声が聞き取りにくかった講師がいた」等々。

## 「アナログ技術セミナー（中級コース）」の報告

セミナー委員会主催の「アナログ技術入門セミナー」が、10月30日（火）渋谷の「投資育成ビル」8Fホールで開催され DAFS内外から124名が受講した。

昨年の「アナログ技術入門セミナー」に続き 今回は群馬大学および㈱東芝 セミコンダクター社から計6名のベテラン講師陣を招いて「中級コース」を開催した。

後援：JEITA、群馬大学、JASVA 協賛：東芝 セミコンダクター社



<会場風景>



<受付風景>



<講演中の群馬大学大学院教授 小林講師>



<開会の挨拶をするDAFS 大西 セミナー委員長>



<講演中の群馬大学客員教授 小室講師>

セミナーの構成（テーマ、講師）は次のとおり。

**第1部（群馬大学 講師陣）**

- ・演題①「アナログ回路技術の分類とその機能」
- ・演題②「デジタルとアナログの協調と共存」  
講師：群馬大学大学院 工学研究科 電気電子工学専攻  
教授 小林 春夫 氏

- ・演題③「アナログ回路技術はどの様に使われているか  
— 身近な機器におけるアナログ技術」

講師：群馬大学 共同研究イノベーションセンター

客員教授 小室 貴紀 氏

**第2部（株東芝 セミコンダクター社 講師陣）**

演題・講師

① 「RFデバイスの開発動向」

アナログパワーシステムLSI技術部

部長 青木 英彦 氏

② 「高周波用LSI開発に与えるRFCMOS技術の影響と開発動向」

ワイヤレスシステムLSI応用技術部

グループ長 芹澤 陸 氏

③ 「電源用（DC-DCコンバータ用）パワー素子」

首席技監 中川 明夫 氏

④ 「小型化のための半導体実装技術（SiP、熱設計）」

アナログデバイス製品技術部

部長 沢谷 博道 氏

**アンケート集計結果：**

受講者数124名、回答数117名（回収率95%）

（内DAFS会員は35%、技術系社員は78%）

① セミナーは役に立ったか？

「大変役に立った」が32%、「まあ役に立った」61%で、合計93%で成果が確認された。

② セミナーの内容については：

「非常に良かった」と「良かった」の計が 6講師平均で 59%であった。

③ 今後のアナログ技術に関するセミナーはどのようなセミナーを希望するか？（複数回答可）

「今回と同様の中級コースをシリーズで開催」が40.4%、「少し程度を上げた上級コースの開催を希望する」が34.5%、「初心者向け入門コースもシリーズで開催」が24.6%、「アナログ技術のセミナー開催を希望しない」が 0%であった。



<講演中の東芝 芹澤講師>



<講演中の東芝 中川講師>



<講演中の東芝 沢谷講師>



<講演中の東芝 青木講師>



<受講風景>